



妻北っ子だより

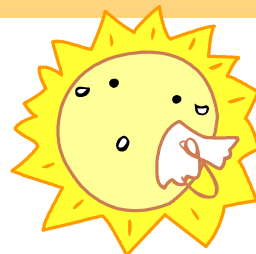
令和4年度 8月号 文責 校長

2学期に向かって

35日の夏休みが終わりました。

「体や命を大切にすること」「これだけはがんばった（できるようになった）ことを見付けること」「戦争について考えること」を子どもたちに話していましたが、どうだったでしょうか？

2学期の授業日数は82日。1学期と同様、一人一人が目的意識をもち、しっかり振り返りができる教育活動を展開していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



「1学期をふりかえって」 3年1組 杉尾 実咲

あっという間に1学期の終業式をむかえ、明日から夏休みです。わたしは夏休みに入る前に1学期の振り返りをしました。そして、がんばったと思うことが3つあります。

一つ目は、漢字の自学です。3年生になった始めのころは、やり直しがたくさんありました。でも、ひと文字ひと文字でいねいに書いたら、やり直しがなくなってきました。今では、たくさんのお花をもらえるようになりました。字がきれいになったような気がして、とてもうれしいです。

二つ目は、そうじです。最初のときは、少し話をしていました。だけど、無言で時間いっぱいそうじをするというきまりを守るために、意識してそうじをするようにしました。今では、話をせずにそうじをすることができるようになりました。

三つ目は発表です。3年生になって勉強がむずかしくなり、発表することが不安でした。だから、授業や宿題に集中して取り組み、自信が持てるように努力しました。今は、勉強がよく分かり、自信をもって発表できるようになりました。これからも続けていきたいと思えます。

1学期は、クラスの友達と仲よく遊ぶこともでき、とても楽しかったです。1学期に立てた目標も守れたものが多く、よかったと思います。2学期も目標をしっかり立て、守れるように努力していきたいと思えます。

「1学期がんばったこと」 3年2組 中尾 勇太

ぼくは1学期にがんばったことが3つあります。

一つ目は、わり算です。わり算は、1年生ぐらいのころに、わり算ってどんなふうに計算するのか。と何回か不思議に思ったことがありました。そして、やっとわり算を習い始めました。わり算はかなり難しかったので、おぼえるのにとっても時間がかかりました。わり算のテストが百点だったときは、とてもうれしかったです。

二つ目は、前転と後転です。がんばったことは、後転の着地のときに足を開くことです。初めてできたときに、回転するのが楽しいと思いました。

三つ目は、漢字です。漢字は、1年生のころから苦手でした。自学をたくさんやっているのに、一ヶ月あればすぐおぼえられていたけれど、3年生の漢字は、そんな簡単には、おぼえられませんでした。けれど少しずつおぼえられるようになってきました。

2学期も色々とおぼえたいことがたくさんあると思えますが、あきらめずにがんばりたいと思えます。

行事

8月

- 25日(木) 2学期始業式
- 26日(金) 交通立番指導<~30日>
 - ※ 熱中症及び感染症予防のため
昼休みカット期間
~9月14日(水)まで>
- 29日(月) 教育相談アンケート開始
運動会前健康調査開始
- 31日(水) 避難訓練(地震想定)

9月

- 1日(木) 参観日(授業参観・懇談中止)
- 7日(水) ミュージックシェアリング(6年)
- 8日(木) 読書の日・菜の花会議
- 11日(日) PTA 奉仕作業
- 12日(月) 運動会結団式
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 運動会練習開始
- 23日(金) 秋分の日
- 26日(月) 募金活動開始<9月30日まで>
- 29日(木) クラブ活動・安全点検

夏休み、特に7月末からのコロナウイルスの感染状況が、県内で2千人、3千人規模となり、ある時は4千人を超えることもありました。

賛

いわゆる「行動制限」のない中で、どのようにして感染拡大を防ぎ、医療体制を維持するかが大きな課題となっています。

否

学校でも、これまで実施してきたマスク着用、手指消毒、3密を避けた活動の徹底を図ること再度確認したところです。

両

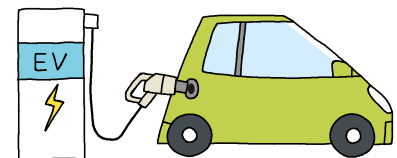
これから国の対応策が改められる可能性もありますが、学校でクラスター発生の可能性がある判断した場合は、学年・学級を一定期間出席停止し、自宅待機(自宅で過ごす)をお願いすることになります。

論

学びを保障するために学習計画や内容に沿ったプリント等を送付したり、学校から個別に連絡をしたりと工夫を凝らしていますが、屋外での活動が制限されるため多かれ少なかれ、心にストレスを抱えてしまうことも心配しています。

今後とも「いつ、どこで、だれが感染するか分からない」ことを自覚し、残暑による熱中症対策とも合わせて、学校と家庭で連携した対応をしていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

「AIEV」の時代がやってくる？！



8月4日(木) 全国NIE研究大会に参加してきました。

宮崎でされた吉野彰氏(リチウムイオン電池の開発でノーベル賞を受賞)の講演があるという千載一遇のチャンスでした。

「2025年には大阪万博が開催され、EV車が主流になり始め、未来社会がスタートする」

「2030年はSDGSのゴールを迎える」「2050年にはサステナブル社会が実現している」という提言をいただきました。

特に、

「AIで自動運転するEV車が町中を走り回り、スマホ等の端末で自由に乗り降りできる時代がやってくる」「たくさんのEV車を充電するための施設が町中にできることで、発電所の役割を果たすことにもなる」等、子ども達に語ることでできる未来像を示していたことは、大きな勉強になりました。